

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 西葛西校		
○保護者評価実施期間	2023年12月11日		2023年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2023年12月5日		2023年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の都度、保護者とお話する時間を設けており、お子さんの状況・変化や成長点・成長に繋げるための今後の働きかけなどについて共有したり、保護者の困り事や心配事について一緒に考えたりしている。	相談に対する即答が難しい場合は複数人で検討後、後日返答している。お子さんの言動の良かった点/達成が難しかった点、どちらにも発達的な背景や要因があり、それらを保護者に共有する。そのためには個々のスタッフが学び続けることが必要であるため、オンラインを含む研修の実施や療育後の毎回の振り返りで、様子を共有・相談・検討し合う。	事業所内での解決が難しい場合、ケース検討・スーパービジョンを行う。
2	個々のお子さんに対する丁寧なアセスメントやPDCAサイクルに基づいた支援内容の見直しの実施。	半年ごとのモニタリングや支援の見直しに向け、事業所内の関係スタッフでカンファレンスを行うが、そのサイクルに漏れがないようアプリも導入しながら実施している。	カンファレンスの中で交わされる意見に関しては、お子さんを観察する視点が個々のスタッフに必要となってくるため、日々の療育の振り返りで様子を共有・相談・検討し合うことや、必要に応じてスタッフ個々人と別途検討時間を設けている。
3	法人内研修や事業所内での新入社員育成体制が整えられている。	オンラインを含む研修の実施。また、法人内で研修やスーパービジョンを取りまとめるチームを設けて実施している。事業所内にて新入社員と育成担当スタッフがペアとなり、定期的に療育の振り返りを行う時間を設けている。	必要に応じて、テーマを検討して座談会を行うなどの取り組みをしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練や日頃の活動に関する報告や発信について、理解・把握されていないものが多い。	避難訓練はメールや事業所内掲示板に実施報告を掲示しているが、それ以上の発信はしていない。活動の発信はSNS等の更新を行っていてもそれ以上の発信はしていない。	避難訓練については引き続きメール送信と事業所内掲示板に実施報告を掲示する。活動の発信方法の検討が必要。
2	父母会等保護者同士の関わりの場、つながりの場を設けられていない。	保護者のニーズを把握することや実現可能な日程の調整、スタッフの確保が困難であるため。	保護者のニーズの把握や実現可能な日程の調整、スタッフの確保が必要。
3	『児童発達支援ガイドライン』の内容を理解・把握しているのが一部のスタッフのみで留まっている。	『児童発達支援ガイドライン』に示されている内容と、事業所の運営や取り組み・個別支援計画の内容との関連性について、スタッフや保護者に知ってもらい、という意識が薄い。	スタッフ、保護者に知ってもらいべき情報の精査と伝え方について検討が必要。